

令和4年度 事業報告書

障害児通所支援

ちゃーむ

生活支援に関する事業

実施事業名		実施月	実施状況		主な実施内容	結果
			参加人数	実施回数		
A 日 中 活 動	室内活動	通年	全員対象	毎日	一人ひとりの子どもの欲求を十分に満たし、生命の維持と情緒の安定を図る。	好きな活動を行い、満足感を得たり、穏やかな余暇時間を過ごすことで、心身の安定につながった。また、自立課題等、個々に必要な課題に取り組んだ。
	室外活動	通年	全員対象		近隣の公園や海洋博物館、公共施設への外出を通して、基礎体力と心身の健康増進を図る。	新型コロナウイルス感染予防として、公共施設見学は行わなかった。公園遊びでは、鬼ごっこ等体を十分動かす活動に取り組んだり、遊具遊びから挑戦する気持ちを養った。また、散歩を通して、季節の移り変わりに触れながら体力作りを行った。
	製作活動	通年	全員対象	月1回	手・指先を使うことで日常生活活動能力の向上を目指す。また、製作活動を通して達成感を味わい自信に繋げる。	一つずつ作業を重ねることで完成させる喜びや達成感を味わうことができた。また、家族へのプレゼント製作では、感謝の気持ちを伝えと共に成長を感じていただくことができた。季節に合わせた製作活動を行うことで季節の変化に触れることができた。
	スヌーズレン	通年	全員対象	通年	聴覚・視覚・触覚・味覚・嗅覚の五感を使って、トータルリラクゼーションの心地よい空間を提供する。	視覚、触覚等の心地よい刺激と落ち着いた空間を使用することで、気持ちの安定や切り替えを図ることができた。
	ミュージックケア	通年	全員対象	月2回	音楽の特性を利用して、心身に快い刺激を与え、対人的な関係の質を向上させ、情緒の回復や安定を図る。さらに運動感覚や、知的機能の改善を促し、心身と生活に好ましい変化を与える。	曲の変化に合わせて体を動かし、運動感覚に刺激を与えたり、音楽を聴きながら楽器を鳴らすことで聞く力や判断する力を養った。また、音楽に合わせて表現する中で、コミュニケーションを図ることができた。
	美化活動	通年	全員対象	月1回	花壇の整備、草むしり、窓ふき等環境美化を行う。	掃除をする場所を自ら選び行うことで、責任感を持ち取り組むことができた。また、皆で綺麗にできたことで、協力することや達成した思いを感じることができた。

	キッズヨガ	通年	全員対象	月2回	心と身体両方に作用するヨガを通して健康な身体を作ると同時に、精神の落ち着きを得ることで自己肯定感などを高め、豊かな人間性を育成することを目的に行う。	静かな動きの中で体幹を鍛え、気持ちの安定を図った。また、新しいポーズに取り組むことで挑戦する気持ちやできた喜びを感じることができた。
	フラ体操	通年	全員対象	月1回	フラダンスをベースとした体操で脳の活性化、健康増進を目的に行う。	フラダンスの曲の他、児童に人気の曲に合わせて、表現することで楽しみながら体を動かすことができた。
	体操教室・運動遊び	通年	全員対象	体操教室 (年4回程度) 運動遊び (通年)	楽しく体を動かすことで、走る・転がる・飛び跳ねる・渡るといった基本的な動作を養い、体の動きをコントロールすることで、苦手な動作や不器用さの改善を図る。	体操教室は行わなかったが、平均台や飛び石渡り等、いろいろな運動器具を使い、筋力や体幹を鍛える活動を行った。
B 各 種 療 法	言語療法	通年	一部利用者	月2回	言語療法士の指導のもと、障害の種別によって一人ひとりに応じた評価・訓練を行い日常生活でコミュニケーションを図る際に、必要な「聞く」「話す」「読む」「書く」といった各種言語機能に対して改善・維持あるいは代償としていく訓練を行う。	言語療法希望者のみ実施した。新型コロナウイルス予防のため活動回数は少なかったが、口や舌の動きから発音の仕方を練習したり、カードを使用し言葉やジェスチャー等表現する方法を行った。
	療法的な音楽の時間	通年	全員対象	月1回	いわき音楽療法研究会MusicForestのご協力のもと、音楽を聴いたり、歌ったり、楽器を鳴らしたりする中で心や体を刺激し、生活向上と機能回復を目的とする。	季節の歌や曲に合わせて体を動かしたり、普段触れることの少ない楽器に触れることで、楽しみながら表現活動ができた。
	生活訓練	通年	全員対象	月2回	作業療法士の指導のもと、遊びを中心とした様々な作業活動を通して、個々の利用者の発達課題(運動機能、日常生活機能、学習基礎能力、心理社会的発達等)や現在・将来にわたる生活を考慮した支援を行う。	新型コロナウイルス感染予防のため、活動回数は少なかったが、遊びや活動を通して、個々の発達課題や必要な対応方法について、助言をいただき、支援の中に活かした。
	陶芸療法	8月	全員対象	年1回	粘土を掴んだり、握ったりする作業から、手指の発達を促す。子どもの創造性を育み、作ることの楽しさや喜びを体験する。	マグネットを作った。好きな色の粘土を選び、捏ねたり丸め成形した。できた物はどこで使おうかと、完成を楽しみにしながら作ることができた。
	遊戯療法	通年	全員対象	通年	遊びを通して、自らの問題状況や、言語化できない感情を表現することを目指す。	安心した空間設定の中、遊びや集団活動を行うことで、本人の思いが行動を通して見られた際は、本人の思いを汲み取りながら、支援へと繋げた。

療育

C 療 育	SST (社会生活技能訓練)	通年	全員対象	通年	人との関り・行動をより適切で効果的に行うことができるよう社会的スキル訓練を行う。また、学習理論(行動理論)に基づく技法を用いて体系的、意図的に対象者の技法形成を図る構造化された方法で本人の強さを引き出す。	あらゆる場面の中での人との関り方や行動の仕方について、どのような対応が必要であるか、教材を使用したり、ロールプレイを行う中で理解を深めた。
	TEACCH	通年	全員対象	通年	周囲の状況を自分の力で理解し、自分に必要な情報を選び出し、適切な行動ができるよう障害や能力に合わせて構造化した環境を整え、視覚的支援をする。	環境を設定したり、スケジュールや出かける場所等を視覚的に伝えることで、見通しが立てられ、児童の思いを引き出すことができたり、気持ちの安定や気持ちの切り替えを行うことができた。

関係機関との連携強化

児童発達支援	通年	全員対象	通年	身近な地域の障害児支援の専門事業として、通所利用の障害児の受け入れだけではなく、地域の障害児・その家族を対象とした支援や保育所等の障害児を預かる施設に対する援助を行う。	保育所等と児童に対しての共通理解を図り、必要な支援ができるよう行った。また、小学校入学に際し、小学校と情報共有を行った。
家族支援	通年	全員対象	通年	保護者に対して子どもの育て方の助言を行う。肯定的な見方で適切な関わりを身に付けることによって、障害による症状や改善、子どもが感じている困難の軽減に繋げる。また、家族を含めたトータルな支援を図っていく。	定期的なアンケート、連絡帳、保護者とのコミュニケーション等で保護者の思いや子育てについて傾聴し、助言を行った。また、必要に応じて、保護者が話しやすい時間や環境を設けた。児童からも、困難な状況の聞き取りを行い、状況の改善、精神の安定へとつなげた。
ケアマネジメント	随時	各関係者	随時	必要に応じて、教育や就労の分野、地区センターと連携し支援会議の開催を進める。さらに、学齢期への移行時、進学時、卒業時などにおいて、支援の切れ目が生じないよう連携を図る。	必要に応じて、教育や地区センターと協力をし、支援会議を開催した。
法人内連携	随時	法人内関係者	随時	相談支援事業を通し、本人や家族が必要としている制度の説明やサービス等を安心して利用できるよう円滑化を図る。	必要なサービスが提供できるよう相談支援事業所や他事業所等の連携を図った。

地域力を高める

外食 (テイクアウト含む)	4月・10月 11月	一部利用者 (21名)	年3回	自己選択・自己決定を尊重し、地域での自立や社会参加を促進する。	新型コロナウイルス感染予防のため、テイクアウトでの食事を行った。事前にテイクアウトする店の候補を示したり、準備をしたメニューなど使い自己選択・自己決定ができるようにした。また、家族から情報収集することで、好きなものを食べることができた。外食時は、支払いの経験も行った。
買物	8月・11月 1月	一部利用者 (19名)	年3回	自己選択・自己決定を尊重し、地域での自立や社会参加を促進する。	好きな菓子や食べたいものを選び、自分で支払う等買物の一連の流れを行った。自ら購入したものを昼食やおやつとして食べることで、満足感が得られた。また、新型コロナ感染対策として、マスク着用、手の消毒も行い、現状、必要な対応も学んだ。
ボランティアの活用				ボランティア受け入れを積極的に行うことにより、障害児通所支援の認知を広める。	行わなかった。
公共の交通機関の利用				就労を見据えて、公共の交通機関利用(バス・電車)の訓練を行う。	新型コロナウイルス感染予防のため行わなかった。進学に向け、公共交通機関を利用する児童に対しては、必要な対応について伝えた。

地域貢献・社会貢献

実習生受け入れ				実習生を積極的に受け入れ、障害児に対する支援や交流等を通し福祉人材の育成に貢献する。	行わなかった。
高齢者との交流				子どもたちと高齢者のつながりが、希薄になっている状況において、子どもたちの豊かな人間性を育むとともに、子どもたちが高齢者と触れ合い、高齢者から学んでいくことを目的とする。	新型コロナウイルス感染予防のため行なわなかった。
地域の清掃活動	通年	全員対象	通年	近隣の公園や公共施設のゴミ拾い等を行い、地域の環境保全に協力する。	室外活動の際、公園のゴミ拾いを実施した。ゴミを拾うことで、皆が気持ちよく使用するために必要なことについて考える機会となった。

会議および監査に関する事業

実施事業名	実施月	主な実施内容
A. 会議	令和4年4月 ～ 令和5年3月	a. 職員会議(毎月) b. 個別支援方針決定会議(随時) c. 権利擁護委員会(随時) d. 権利擁護委員第三者との懇談会(2月) e. 次年度事業計画策定会議(12月～2月) f. 行事計画会議(随時) g. サービス担当者会議(随時)
B. 監査	令和4年7月	法人内部監査

研修に関する事業

実施事業名	実施月	主な実施内容
法人内	令和4年11月	新規採用職員研修会
法人外	令和4年10月	障がい者虐待防止研修
	令和4年11月	いわき市児童虐待防止啓発講演会
	令和4年11月	BCP検証セミナー～自然災害編～
	令和5年 1月	令和4年度 地域における公益的な取組推進セミナー
	令和5年 2月	接遇マナーから知る権利擁護と支援
	令和5年 3月	令和4年度福島県児童発達支援管理責任者スキルアップ研修

その他の事業

見学者	月	見学者名(団体名)	内容
	7月	いわき市障がい者相談支援センター他 2名	施設見学
	2月	相談支援事業所 ちゅうおうだい 1名	施設見学

令和4年度 活動内容実績

ちゃーむ

月	児童発達支援			放課後等デイサービス			延人数		
開所日数	(幼)男子	(幼)女子	合計	(児)男子	(児)女子	合計	男子	女子	合計
4月(26)	2	0	2	19	4	23	230	60	290
5月(23)	2	0	2	19	4	23	187	47	234
6月(26)	2	0	2	19	4	23	243	64	307
7月(26)	2	0	2	19	4	23	233	59	292
8月(27)	2	0	2	19	4	23	243	59	302
9月(26)	2	0	2	19	4	23	196	54	250
10月(26)	2	0	2	19	4	23	239	58	297
11月(26)	2	0	2	19	4	23	213	46	259
12月(25)	2	0	2	19	4	23	209	61	270
1月(24)	2	0	2	19	4	23	219	51	270
2月(24)	2	0	2	19	4	23	221	56	277
3月(27)	2	0	2	19	4	23	240	65	305
合計	24	0	24	228	48	276	2673	680	3353

利用者数

幼児	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	計
2	4	3	2	1	0	0	12

中学1	中学2	中学3	高等1	高等2	高等3	計
3	1	3	2	3	1	13

学校名

保育所	自宅	いわき支援	小名浜西小	小名浜三小	泉北小	小名浜二中	合計
1	1	16	2	2	1	2	25

障害種類

自閉症	ダウン症	知的障害	ADHD	その他	合計
16	3	3	1	2	25

手帳等級

療育A	療育B	身体・4	身体・5	手帳なし	合計
7	15	1	1	3	27

* 療育手帳 A身体手帳 4級の重複…1名

* 療育手帳 B身体手帳 5級の重複…1名

令和4年度 事業報告書

日中一時支援事業

ちゃーむ

生活支援に関する事業

実施事業名		実施月	実施状況		主な実施内容	結果
			参加人数	実施回数		
A 日 中 活 動	室内活動	通年	全員対象	毎日	一人ひとりの利用者の欲求を十分に満たし、生命の維持と情緒の安定を図る。	日中一時支援事業を利用する児童はいなかった。
	室外活動	通年	全員対象		近隣の公園や海洋博物館、公共施設への外出を通して、基礎体力と心身の健康の増進を図る。	日中一時支援事業を利用する児童はいなかった。
	製作活動	通年	全員対象	月1回	手・指を使うことで日常生活活動能力の向上を目指す。また、製作活動を通して達成感を味わい自信に繋げる。	日中一時支援事業を利用する児童はいなかった。

会議および監査に関する事業

実施事業名	実施月	主な実施内容
A. 会議	令和4年4月 ～ 令和5年3月	a. 職員会議(毎月) b. 個別支援方針決定会議(随時) c. 権利擁護委員会(随時) d. 権利擁護委員第三者との懇談会(2月) e. 次年度事業計画策定会議(12月～2月) f. 行事計画会議(随時) g. サービス担当者会議(随時)
B. 監査	令和4年7月	法人内部監査

研修に関する事業

実施事業名	実施月	主な実施内容
法人内	令和4年11月	新規採用職員研修会
法人外	令和4年10月	障がい者虐待防止研修
	令和4年11月	いわき市児童虐待防止啓発講演会
	令和4年11月	BCP検証セミナー～自然災害編～
	令和5年 1月	令和4年度 地域における公益的な取組推進セミナー
	令和5年 2月	接遇マナーから知る権利擁護と支援
	令和5年 3月	令和4年度福島県児童発達支援管理責任者スキルアップ研修

その他の事業

見学者	月	見学者名(団体名)	内容
	7月	いわき市障がい者相談支援センター他 2名	施設見学
	2月	相談支援事業所 ちゅうおうだい 1名	施設見学

令和4年度 活動内容実績

日中一時支援事業　ちゃーむ

[illegible]

利用者数

幼児	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	計
0	0	0	0	0	0	0	0

中学1	中学2	中学3	高等1	高等2	高等3	計
0	0	0	0	0	0	0

学校名

保育所	幼稚園	いわき支援	富岡支援	小名浜西小	小名浜一中	小名浜二中	合計
0	0	0	0	0	0	0	0

障害種類

自閉症	ダウン症	知的障害	ADHD	その他	合計
0	0	0	0	0	0

手帳等級

療育A	療育B	合計
0	0	0